

2010年1月18日

各都道府県体操協会・連盟 様
体操競技ならびに男女新体操所属団体長 様

(財)日本体操協会 専務理事 渡辺 守成
[文責] 男子新体操プロジェクト 山田 小太郎

全国にて「男子新体操・無料体験教室」開催についてのお願い

寒冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は男子新体操の普及事業に、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

このたび、日本体操協会内に「男子新体操プロジェクト」を設置し、男子新体操の普及発展に取り組むこととなりました。過日、「第1回P/T会議」を開催し、下記の事項が決定致しましたのでご報告ならびにご案内を申し上げます。

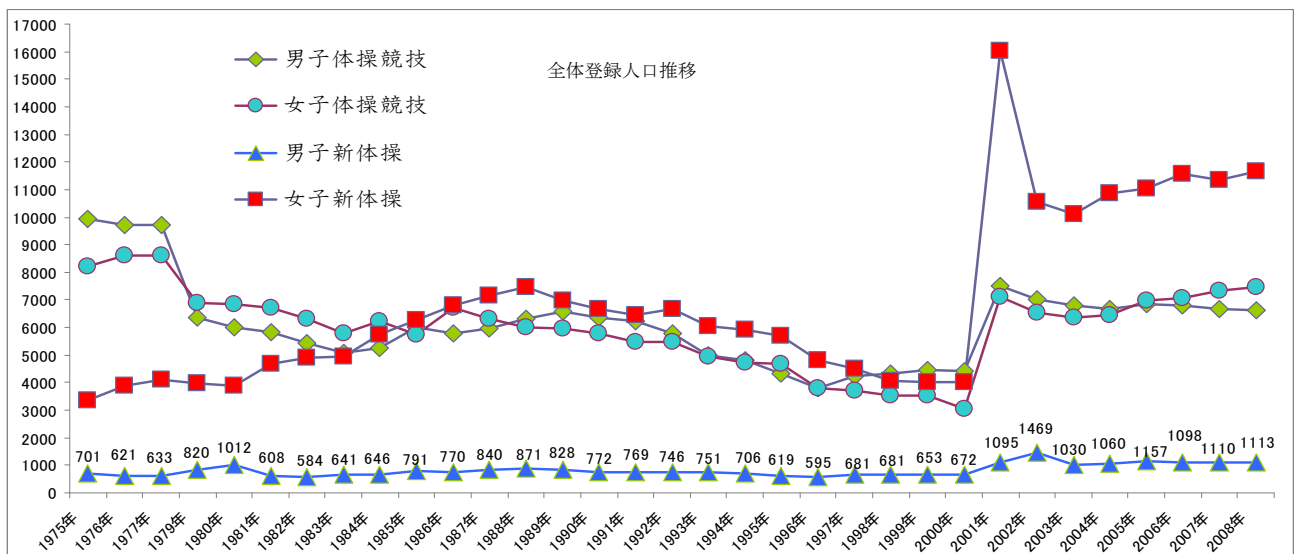
今後とも、ご協力とご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1、現状把握

今までの男子新体操では今後の存続は厳しい状況であることは周知の事実であります。

過去30年の男子新体操人口推移（下記表参考）と致しましても、大きな増減もなく特に変化のない時代を過ごしてまいりました。



昨今はメディアに取り上げられることも多く男子新体操を「知る」意味では昔よりは進歩したように感じますが、実際に「競技人口を増やす」という面においては昔と同じと言わざるを得ません。このままでは少子高齢化や種目の削減などの波にのまれ、我々のスポーツは減退の

一途をたどることが予想されます。

体操関係者の男子新体操に傾けてきた情熱や時間を大切に、今こそ皆様のお力添えを再度受け男子新体操の普及発展に取り組む時期だと思っております。どうかご尽力を賜りますようお願いいたします。

2、男子新体操の普及施策について

(1) 基本方針：確実にできることを一步一步着実にを行う。10年計画とする

(2) 具体策

① 登録選手数目標：(現状) 1千人→(目標) 1万人

② 組織の強化

これまでのような募金を行わず、独立採算で自立した組織を目指す。

③ 「第1回全国男子新体操団体選手権」の開催

○ 高校生が国体での競技の場が無くなったことに対し、既存の「全日本新体操ユースチャンピオンシップ」に男子新体操団体の部を2010年大会より増設する。

○ 高校生だけでは参加数が限られるため、参加年齢を小学4年生～高校生とする。

④ 男子新体操全国指導者・選手合同合宿

指導者育成ならびにジュニア層の新体操の基礎・基本技術向上

平成22年1月30日(土)、31日(日) 国士館大学 多摩校舎

⑤ ジュニア層の普及を広めるために、ルールの見直しをはかる

⑥ 民間クラブの新設ならびに活性化

○ 既存の体操教室、新体操教室の活性化の一貫として男子新体操を採用

既存の体操競技教室、新体操教室に男子新体操部門を新設していただく。

ご要望があれば男子新体操P/Tより指導員を派遣する。

○ 民間男子新体操クラブの新設

指導者・選手合同合宿時にクラブ設立方法を講習する。

⑦ メディアとのタイアップ

2010年4月中旬～6月中旬にかけて男子新体操を題材にしたメディアとのタイアップを行う予定です。 ※詳細は3月中旬頃記者発表致します。

全国的に男子新体操への興味が深まることが予想されます。この機会に男子新体操を広く普及させたく、下記の対応についてご高配をお願い致します。

男子新体操関係者におかれましては上記期間、各県都道府県下にて「男子新体操・無料体験教室」を実施していただけますようお願い申し上げます。また、各協会・連盟におかれましては、是非ともご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(財)日本体操協会のHP上に「男子新体操・無料体験教室」開催場所の情報を掲載すると同時に男子新体操ブログを立上げ、男子新体操を盛り上げる予定です。

以上